

JR東労組 サークルNEWS

2016年 3月 2日
第 24号
東日本旅客鉄道労働組合
サークル協議会
発行責任者：矢島敏幸
編集者：野中広俊

サークル協議会部長会議開催！

2月6日、本部大会議室においてJR東労組サークル協議会部長会議が開催されました。会議は川島副議長を進行役に始まり、サークル協矢島議長から挨拶をいただき、本部佐藤研修サークル部長より「JR東労組としてのサークル活動のあり方」について問題提起を受けました。その後討論を行い18名の各部の代表から発言がありました。

◎出された主な意見◎

- ・現地に立ってわかることがある。これからも只見町を応援していく。
- ・主管の地本と共に大会をつくってきた。今後も未結成地本の確立をめざす。
- ・サークルの仲間と共に命を守る取り組みを進めていきたい。
- ・参加人数と全地本参加にこだわった大会をめざし、会議室を借りて役員会を開催する。
- ・参加者に若手は増えているが役員には少ない。今後の課題だ。
- ・大会に労連の仲間が参加してくれた。すそ野の広がりを感じる。
- ・役員が質が問われている。プレッシャーを感じるが言われるとおりだ。自分がどういう大会をつくっていくのか、課題をつくって取り組んで行く。



挨拶する矢島議長



佐藤部長の問題提起

多くの発言は実践的であり教訓に富む内容でした。これらの発言を受けて野中事務局長の「サークルの意義をお互い考えていこう。サークルは組織の潤滑油だ、明るく楽しく元気よくJR東労組をサークルからつくっていこう。」というまとめで部長会議は成功裡に終了しました。